



砂の道を歩いて渡る無人島・縁結びの島

ちりんがしま
知林ヶ島

90m

- 距離：砂州約800m、遊歩道約3km
- 歩行時間：砂州（片道）約20分、遊歩道（一周）約1時間30分



(南展望台からの眺め)



(いぶすき砂の道ちりりんロード)



※すべての地図は、国土地理院の電子地形図を加工して作成したものです。

3月から10月にかけての大潮・中潮の干潮時には、田良岬と知林ヶ島の間には長さ約800mの砂州が出現し、歩いて渡島することができる。この砂州の愛称は「いぶすき砂の道ちりりんロード」。島全体が小さな山であり、島内には2カ所の展望台があり、砂州や指宿市街地、大隅半島や桜島を眺望できる。

昔は老松が茂り、夜、この付近を通過する船乗りは、風に揺れる松林の音を頼りに航行したことから、「林の音によって島の位置を知る」、「知林ヶ島」と名づけられたといわれている。

*登山道：

- ・知林ヶ島の頂を極める登山道はないが、島内の周遊ができる遊歩道がある。

*注意点／アドバイス：

- ・渡島の際は、事前にホームページ「いぶすき観光ネット」にて砂州出現予測時刻などの最新情報を確認し、自己責任のもとで渡ってください。
- ・島の砂浜にいる知林ヶ島ガイドからの注意事項をよく聞いて、守ってください。
- ・島内には、宿泊施設や売店、公衆トイレ、水道・電気もありません。

*田良岬までのアクセス：

- ・JR 指宿駅から車で15分。その先、砂州を歩いて島に渡る。

*関連行事・イベント：

- ・砂州開き（4月頃）

*周辺情報：

- ・環境省「かおり風景100選」選定（指宿知林ヶ島の潮風）。
- ・「知林ヶ島の砂州情報」参照。

(<https://www.ibusuki.or.jp/tourism/view/chirigashima/>)

■島のプロフィール

干潮時には陸続きになる無人島。縁結びの島と言われる。周遊道や展望台が整備されているほか、灯台もある。

<周辺位置図>



◆ 「しま山 100 選」とは

(公財) 日本離島センターでは、海に囲まれた島の山々の個性や魅力にスポットをあて、全国の島々を対象に、「しま山 100 選」を選定しました。「しま山」を通じて、訪れる人にも、島の人にも、島の魅力を再発見してもらい、交流の促進につなげていくことがねらいです。

そもそも島とは、海の底から立ち上がった山であり、その姿は高山のような雄大さがありますが、海拔にすれば 1,000 メートル以上のしま山は少なく、体力をあまり気にせずに頂を極める満足感が得られ、一年を通じて楽しめる山が多いことが魅力です。草花や生きもの、地形や地質、全方位のパノラマや多島美、史跡など、しま山ならではの特別な宝物にも出会えるかもしれません。

海を渡ると、そこは島時間。日常からちょっと離れて、島旅・山旅にでかけてみましょう。山から島を眺めれば、島の形や人々のくらしの場、島を囲む美しい海や砂浜、遠くの島々まで見渡すことができ、その島をもっと身近に、もっと好きになれるはずです。



「しま山」登山は、情報集めから

本シートは、各山の魅力をまとめることで、まずは「しま山」や島に興味を持ってもらうことを目的として作成したものです。「しま山」に行くことが決まったら、より詳細な情報を集め、登山計画を立てましょう。

島旅は、季節や天候によって行程などに影響の出やすいものです。事前に、インターネットやガイドブックなどで最新情報を確認するとともに、観光案内所や宿の方などに相談してみるのも、おすすめです。